

都市再生整備計画 事後評価シート
第3期江津地区

令和7年3月

島根県江津市

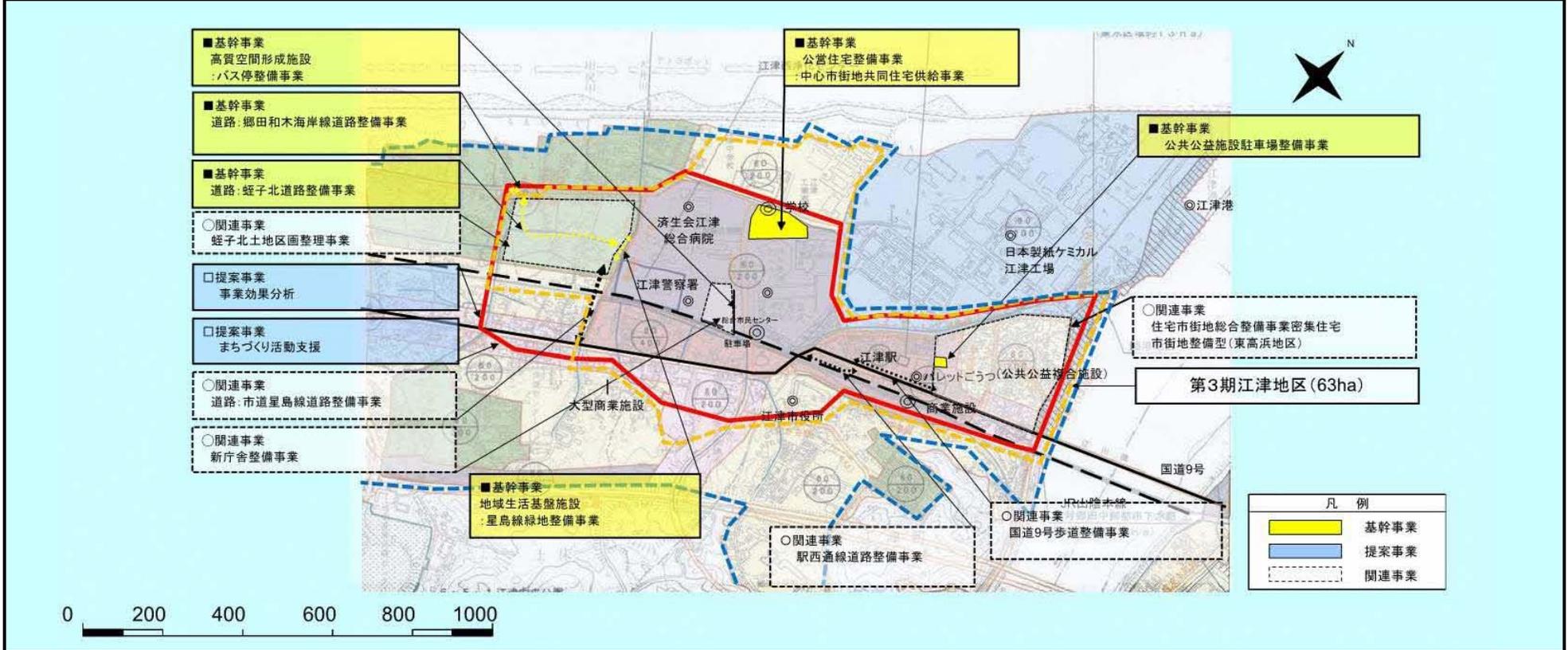
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	島根県		市町村名	江津市		地区名	第3期江津地区		面積	63ha		
交付期間	平成31年度～令和5年度		事後評価実施時期	令和6年度		交付対象事業費	628.6百万円	国費率	0.487			
1) 事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(蛭子北道路整備事業)、地域生活基盤施設(公共公益施設駐車場整備事業)、高質空間形成施設(バス停整備事業)、公営住宅等整備(中心市街地共同住宅供給事業)									
		提案事業	事業活用調査(事業効果分析)、まちづくり活動支援									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(玉江線道路整備事業) 道路(駅西通線緑道整備事業) 道路(江津敬川海岸線整備事業) 公園(市民センター公園整備事業) 地域生活基盤施設(五右衛門広場整備事業) 地域生活基盤施設(江津駅前周辺整備事業)				他事業との兼ね合いにより事業期間内に整備することが困難となったため、また、建物建設に伴う線形改良が不可能となったため			影響なし		
		提案事業	-									
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(御田和木海岸線道路整備事業) 地域生活基盤施設(星島線緑地整備事業)				歩道や緑地を整備することで、街なかの利便性・回遊性の向上に結び付けるため			影響なし		
提案事業		-										
交付期間の変更	当初	なし										
	変更	なし										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	通行量の合計	人/日	940	H30	1,376	R5	855	×	あり なし	●	-
	指標2	公共公益複合施設の年間延べ利用者数	人/年	79,262	H29	87,840	R5	73,016	×	あり なし	●	-
	指標3	イベント開催数	回/年	24	H29	35	R5	40	○	あり なし		-
指標4	中心市街地の人口密度	人/ha	16	H30	19	R5	15	×	あり なし	●	-	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
4) 定性的な効果発現状況	交通結節点近傍に公共公益施設を整備したことで、施設内のフリースペースにおいて学生同士の交流や地域間交流が生まれ、施設自体のにぎわいの向上が図られた。											
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等	
	モニタリング	-					都市再生整備計画に記載し、実施できた					
		-					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					
		-					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
住民参加プロセス	-					都市再生整備計画に記載し、実施できた						
	-					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						
	-					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
持続的なまちづくり体制の構築	-					都市再生整備計画に記載し、実施できた						
	-					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						
	-					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2-2 地区の概要

第3期江津地区(島根県江津市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標: 江津市の交流・賑わいを先導し、江津市の玄関口・江津市の顔にふさわしい中心市街地づくりを行う。 [目標1] 中心市街地内を快適に歩ける環境整備を図り、街なかの利便性・回遊性を向上させる。 [目標2] 中心市街地に、魅力的な緑地等整備を行い、賑わいあるまちなかを創出する。 [目標3] 多様な暮らしに対応する住宅整備により居住を誘導し、コンパクトなまちづくりを推進する。	通行量の合計	単位: 人/日	940	H30	1,376	R5	855	R6
	公共公益複合施設の年間延べ利用者数	単位: 人/年	79,262	H29	87,480	R5	73,016	R5
	イベント開催数	単位: 回/年	24	H29	35	R5	40	R5
	中心市街地の人口密度	単位: 人/ha	16	H30	19	R5	15	R5



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 各種道路整備や歩道空間整備が行われており、市民が市街地を歩きやすい環境がある程度整備された。 新庁舎を中心とした周辺整備や公共公益施設駐車場整備により、地域コミュニティの創出につながる施設の利用利便性は向上した。 公営住宅の整備等により、戸建てを中心とした供給から、低所得層についても中心市街地への居住につながったことから、受け皿の幅が広がった。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 住宅立地を推進する環境整備として、蛭子北土地区画整理事業や東高浜地区の密集市街地解消等、住宅の立地環境を促進する。 都市機能誘導、居住誘導の推進として、コンパクトで、生活利便性の高い中心市街地を形成していくために、立地適正化計画に基づく、都市機能誘導、居住誘導の推進を図る。 都市施設の整備として、回遊性、快適性を高め、憩い、賑わい創出につながる市街地を形成していくための整備を行い、目標値を満足する対応策を検討する。